

宗岡中だより



12月号 平成29年12月1日(金)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「晩秋の 日毎に露わ けやき道」

校長 佐藤哲浩

先週末、私が住んでいる町の青葉台公園のケヤキ通りを通り抜けると、改めてケヤキの紅葉に目が留まりました。赤色や黄色や茶色、イチョウやモミジにひけをとるどころか、1種類の樹木なのに微妙な違いがあることを感じました。そのケヤキも冬が近づくにつれ日ごとに木々が露わになっていくことでしょう。

ケヤキの紅葉がいろいろな色になることに疑問を持ち、早速ネット等で調べてみました。最初はケヤキの紅葉色は、気温や日照時間によって決まるのかと思っていました。ところが調べてみると、ケヤキの紅葉の色は遺伝的に強く支配されており、赤く紅葉するケヤキは毎年赤く紅葉し、黄色のケヤキは毎年黄色に紅葉するのです。また接ぎ木で増殖させた苗木でも、同じクローンであれば同じような紅葉色になるのです。つまりケヤキの紅葉の色は「遺伝」なのです。赤、黄、茶のケヤキの苗を使い分けることで、通りの景観もグラデーションにデザインできるかもしれません。



話は変わって、11月13日に第8回強歩会を実施しました。(昨年度は雨天中止) 早朝から川越の上戸公園に集合し出発式を行い、7時半過ぎに生活班ごとに1年生から出発しました。午前中は荒川の土手を川越、川島町から西遊馬公園まで、昼食後は治水橋から羽根倉を通り秋ヶ瀬からゴールの宗岡中までのコース。最後尾の班が到着したのは5時過ぎになってしまいましたが、参加した全生徒が34kmのコースを完歩しました。疲れ果てた生徒も達成感に満ちた顔をしていました。

初めて強歩会を実施した教員の一人が前任校で一緒だったため、計画・立案した当時のことを聞いてみると、生徒の生活態度が少しずつ落ち着きつつある中で、心身ともに強くする、他の学校にない宗岡中ならではの行事を行おうと考え、実施したと聞いています。公立の学校教育に週休二日制が定着してきた時ですから、新たな行事を取り入れることにも賛否あったことでしょう。しかし、本校の生徒の実態を把握し、生徒に取り組みせたいという先生方の思いで、これまで継承してきたのです。

今年度も強歩会を実施するにあたり、事前打ち合わせ会から多くの保護者の皆様に協力をしていただきました。CPで生徒を誘導していただいた保護者、生徒と一緒に共歩していただいた保護者、豚汁を準備、配膳していただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。